

第19回天気予報研究会の開催と講演募集のお知らせ

第19回天気予報研究会を下記の要領で開催します。

日時：2022年2月19日（土）13時30分～17時00分

開催方法：オンライン Zoom ウェビナーを使用します。

2021年7月

要旨：昨年（2020年）熊本県球磨川流域で線状降水帯が発生し、短時間に集中した大雨により大きな災害が発生しました。過去の集中豪雨についても、台風を除くとこのような線状降水帯による集中豪雨が多いと言われていました。このような状況を受けて、気象庁では2021年度から「顕著な大雨に関する情報」を発表することになりました。

昨年度の当研究会のアンケートではテーマに「集中豪雨」を希望する方が最も多く、「低気圧と前線」、「短時間強雨」なども多くありました。また、「情報の伝え方」に対する希望も多くあります。

このようなことから、今年度は「集中豪雨と防災」をテーマに集中豪雨のメカニズム、集中豪雨に関する情報の伝え方、情報を受けた自治体の対応など「集中豪雨」に関連して広く議論します。気象研究者、気象事業者、報道機関、気象予報士、自治体・

企業の防災担当者等、各分野からの講演を募集します。

なお、新型コロナウイルス対策のため、昨年度と同様にオンラインによる実施とします。

講演申し込み要領：

応募締め切り：2021年10月31日（日）

講演者氏名、所属、題目、要旨（400字以内）、連絡先（電話、住所、Email アドレス）を添えてお申し込みください。

申し込み・問い合わせ先：三浦郁夫

Email：miura.ikuo@met.kishou.go.jp

主催：天気予報研究連絡会

運営委員：伊藤みゆき、黒良龍太、佐々木昭士、

下山紀夫、田中恵信、平松信昭、三浦郁夫（代表）、森さやか